

組織部速報

2021年 3月11日
No. 33

東日本大震災から10年 あの日、あの時を忘れない!



2011年3月11日14時46分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0、最大震度7の大地震が発生しました。地震に追い打ちをかけるように高さ10mを超える大津波が東日本太平洋側を広範囲にわたり襲いました。さらに、津波は福島第一原発に壊滅的な被害をもたらし、水素爆発により放射能が拡散する事態に至りました。

残念ながら、組合員1名、組合員の家族5名、OB会員1名が亡くなりました。

震災全体として、これまでに確認された死者と行方不明者は1万8425人、また、避難生活などで亡くなった「震災関連死」は3700人以上で、「関連死」を含めた死者と行方不明者は2万2200人にのぼります。また、原発による避難者はピーク時で16万人以上とも言われています。

貨物労組では全国の仲間が連帯し、被災した地域にむけて①支援物資による激励行動、②カンパの取り組み、③ボランティア活動など、総力をあげた組織的支援行動を展開しました。

震災から10年をむかえた本日同時刻に中央本部全体で黙祷を捧げました。あの震災を乗り越えた団結を思い起こし、改めて総団結にむけて決意を新たにして臨みます。